

2022年11月2日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

日本共産党苫小牧地区委員会
委員長 西 敏彦

大規模な日米共同統合演習の中止を求める要請書

11月10日からの日米共同統合演習は、参加人員数や参加機数などを見ると、これまでにない大規模なものと危惧いたします。ウクライナ情勢や中国、北朝鮮の動向から、「軍拡」を求める声はありますが、市長自ら軍拡に対し「非常に残念」と述べているように、軍拡ではなく憲法9条を生かした平和外交こそ今求められており、大規模な演習はかえって相手を刺激することになると考えます。

また、オーストラリアやカナダ、イギリスなどが演習に参加するだけでなく、NATO加盟国をはじめ多くの国々のオブザーバー招へいも予定されており、初めての事例だけに強い不安を覚えます。

さらには、これまで墜落事故をはじめ様々な事故を繰り返し、安全性が疑問視されるCV-22オスプレイが参加することになっています。米空軍は今年8月、飛行中のクラッチ不具合によりCV-22オスプレイ全52機を待機させる事態となりました。10月23日には横田基地配備の同機種が同じくクラッチの不具合による緊急着陸をする事案も発生しており、多くの市民は不安と強い危機感を抱いております。

よって、市民の安全安心の観点から、米軍ならびに日本政府・北海道防衛局に対し、以下の要請をお願いいたします。

記

- 1、ウクライナ情勢や中国・北朝鮮の動向を踏まえ、相手を刺激し有事を誘発しかねない大規模な演習の中止を強く要請してください。
- 2、事故が続く危険なオスプレイを演習に参加させないよう要請をお願いします。
- 3、市民への影響が心配されるため、演習の内容を事前に把握し、市民への情報提供をお願いします。
- 4、オブザーバー招へいの内容について情報収集をおこない、事前に市民への情報提供をお願いします。
- 5、市独自で騒音測定を実施し、測定結果の公表をお願いします。
- 6、今回の演習において、訓練移転での申し合わせ事項に準じて実施するよう要請をしてください。

以上